

上手な暮らし塾

自治会

地域を元気に！あなたの町の自治会 〜山里地区連合自治会〜

地域の親睦を深め、よりよいまちづくりのためにさまざまな取り組みをしている自治会。

* * *

今回おじやました山里地区連合自治会では、地域の団体とともに、7月18日に「被爆70周年追悼 第8回山里地区1300人ラジオ体操」を開催しました。

久米直会長にお話を伺いました。
「どのようなまちですか？」

原爆投下で多くの犠牲者が出た地区のひとつです。そのため、地域の小学校や中学校では、子どもたちの平和学習に大変力を入れています。

「始めたきっかけは？」
今から8年前に、被爆70周年にあわせて何か追悼行事をしたいと考えたことが始まりです。

昭和15年に旧山里国民学校で撮影された、グラウンドで子どもたちがラジオ体操をしている写真を見て、「これだ！」と思いつきました。

「取り組みについて教えてください。」
原爆の犠牲になった児童約1300人の追悼の意を込めてラジオ体操をした後、平和を願ってみんな黙祷（もくとう）をしました。山里地区では、8年前からこのラジオ体操が夏休みの

始まりの行事と なっています。みなさんの協力で、毎年大勢の人に 参加してもらい、開催しています。参加者にとって地域の歴史や平和を考える機会になるので、これからも続けていきたいと思っています。



山里地区は、観光や平和学習などで訪れる人が多く、まちの清掃やおもてなし活動はもちろんのこと、地域子どもたちを守っていくために、運動会やウォークラリーなどの活動を通じて住民同士の親睦を深め、安全安心のまちづくりに取り組んでいるそうです。

* * *

このように、さまざまな自治会活動に参加・協力することで、住民同士の結束を深め、住みよいまちづくりの輪が広がっていきます。

あなたも、自分のまちの活動をのぞいてみてはいかがでしょう。

問い合わせ

自治振興課 ☎8229・1134

消費者

ネットで探した民間の相談窓口に注意



Aさんは深夜にスマートフォンで無料のアダルトサイトにアクセスしました。「18歳以上ですか」と出てきたので「はい」を押すと、突然「登録完了。入金金12万円を3日以内に払って下さい」という画面が表示されました。慌てたAさんは、インターネットで「消費者センター」と検索し、24時間対応の窓口へ電話しました。すると、民間の業者につながり、「契約を取消すには司法書士や弁護士に依頼しなければならぬが、うちなら5万円ですべてあげる」と言われました。

をインターネットで調べるときにも注意が必要です。「消費者センター」で検索すると、民間業者の広告と公的機関の情報が見分けがつきにくく、Aさんのように広告欄にある民間の相談窓口へ電話する事例が多くなっています。このような窓口は交渉資格がないのに解約交渉をしてあげると言ったり、逆に、交渉を頼んだのに企業調査の契約になっていたり問題になるケースもあります。

Aさんは公的な消費者センターに相談し、5万円を払わずに、民間の相談窓口への交渉依頼もやめることができました。

全国共通の消費者ホットライン（188）が開設され、郵便番号などの入力で最寄りの消費者センターへつながります。通話料以外の費用が発生することはありませんのでご利用ください。お困りの際は消費者センターへご相談ください。

契約内容の確認画面も出ずに、突然高額な料金を請求される手口をワンクリック請求と言います。このような契約は無効となる可能性があります。アダルトサイト運営業者には決して連絡を取らず、すぐに消費者センターへ相談しましょう。

また、消費者センターの電話番号

■ご相談は消費者センター（メルカフさまち4階、相談専用 ☎8229・1234）へお気軽にどうぞ。受け付けは午前10時〜午後5時です。月曜日休業（祝日の場合、直後の平日）。土・日・祝日も相談できます。